

# 土地改良事業計画概要書（第3回変更）

県営松橋地区

区画整理（経営体育成基盤整備「一般型」）事業

# 目 次

第1章	目 的	.....	1
第2章	地域の所在及び現況	.....	2
第3章	基 本 計 画	.....	7
第4章	工事又は管理の要領	.....	10
第5章	換地計画の要領	.....	12
第6章	費用の概算	.....	16
第7章	効 用	.....	17
第8章	他の事業との関係	.....	18
第9章	計画概要図	.....	18

以 上

## 第 1 章 目 的

本地区は、大正10年に10a区画に整備されたが、区画が小さいため営農に支障をきたしている。地区内の各用水路は、ほとんどが土水路であり水管理及び維持管理に支障をきたしている。また、農道幅員は2m程度と狭いため、農業機械の通行に支障をきたしており、農業機械の大型化が進む中で、作業効率向上が進まない状況にある。

このような状況であることから、担い手の育成が進んでいない。このため、本事業で基盤整備を行うことにより、合理的な水管理や大型機械の効率的利用を図り、生産コストの低減と、生産性の高い土地利用型農業の確立を行うとともに、地域の担い手育成に資するための、農地の利用集積・集団化を実施することを目的とする。

## 第 2 章 地域の所在及び現況

### 第 1 節 地域及び地積

#### 1. 地 域

事 業 名	地 域
区画整理	新潟県燕市松橋

## 2. 地 積

(令和7年11月現在)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理	燕 市	67.4	—	—	—	10.3	77.7	
	計	67.4	—	—	—	10.3	77.7	
合 計		67.4	—	—	—	10.3	77.7	

## 第2節 地 形

本地区の地形は、最高で5.07m、最低で4.24mとなっており、地形勾配は南から北へ平均1/1,300の勾配となっている。

## 第3節 地質及び土壌

地質は沖積地であり、土壌は、D31（強グライ土壌強粘土斑鉄型）、D30（強グライ土壌強粘土還元型）である。

## 第4節 気 象

本地区の気象データは気象統計情報（気象庁）及び水文統計資料〔第12版〕（新潟県農地部）から引用する。

### 1. 一般気象

位置 東経 138° 54.09' 北緯 37° 45.08' 標高 2m

観測所名	巻 観測所		かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備 考
観測期間	明治36年～平成26年		5月～8月		9月～4月			
平均	気 温 (°C)		21.7	°C	8.8	°C	13.1 °C	H17～H26年
降 水 量	平 均	(mm)	587	mm	1,211	mm	1,798 mm	H17～H26年
	基 準 年	(mm)	808	mm	1,517	mm	2,325 mm	S39年
降水日数	平 均	(日)	43	日	127	日	170 日	H17～H26年
	基 準 年	(日)	65	日	134	日	199 日	S39年
根 雪 期 間			1月7日 ～ 2月25日			50 日間	S44～S53年 国営西蒲原農業水利資料より	
無 霜 期 間			4月8日 ～ 11月29日			236 日間	S43～S52年 新潟气象台・国営西蒲原水利資料より	
最 多 風 向			南		最大風速 (風向)	24.7 m/s (北北西)	H24年8月6日 新潟气象台・国営西蒲原水利資料より	

## 2. 特殊気象

観測所名	巻 観測所		第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	自 明治36年 至 平成26年		数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率
最大日雨量 (mm)			226.0	S42. 8.28	1/100 以上	198.0	S22. 6.28	1/50 以上	193.0	S45. 7.17	1/50 以上
最大時間雨量 (mm)			65.0	H26. 7. 9	—	53.8	S42. 8.29	—	49.2	S39. 8. 9	—
最大4時間雨量 (mm)			66.4	S39. 8. 9	—	61.7	S42. 8.29	—	60.1	S33. 7.25	—
最大連続雨量 (mm)			346.0	S53. 6.25 ～ 6.27	1/200 以上	298.0	S42. 8.26 ～ 8.28	1/50 以上	290.0	S36. 8. 4 ～ 8. 6	1/50 以上
最大連続干天日数 (日)			47	S24. 7.13 ～ 8.28	1/100 以上	46	H 6. 7. 4 ～ 8.18	1/100 以上	37	S20. 7.22 ～ 8.27	1/30 以上
第 4 位			第 5 位			備 考					
数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率						
191.0	S36. 8. 5	1/50 以上	183.0	S53. 6.26	1/40 以上						
49.0	H20. 8.19	—	48.8	S42. 8.28	—						
59.4	S33. 9. 2	—	57.7	S41. 7.16	—	国営西蒲原農業水利資料より					
225.0	S22. 6.27 ～ 6.29	1/15 以上	219.0	S33. 7.23 ～ 7.25	1/10 以上						
36	S48. 6.28 ～ 8. 2	1/20 以上	36	S53. 7. 3 ～ 8. 7	1/20 以上						

## 3. 海象

該当なし

## 第5節 水利状況及び営農状況

### 1. 水利状況

用水は、一級河川中ノロ川から六ヶ江頭首工より取水し、松橋用水路を経て地区内の系統と新筒揚水機場より取水し、新筒第3号支線用水路から地区内にかんがいする2系統である。

排水は、地区内の小排水路及び支線排水路を経て、二級河川大通川へ排水している。

### 2. 営農状況

本地区は、兼業農家が多く他産業に従事することで生計を維持している農家が多い。また、農業生産の大半が水稲であり、暗渠排水も施工されていないことから園芸作物への転作に適さない状況である。

## 第6節 地域環境の概況

### 1. 植物・動物等生態系の概況

平成30年8月9日に行われた『生き物調査』では、計画地区において  
魚類【ドジョウ、タモロコ、コクチバス、メダカ】 甲殻類【アメリカザリガニ】 昆虫類【シオカラトンボ】  
貝類【カワニナ、タニシ】 両生類【オタマジャクシ】 全9種類が確認された。

### 2. その他、地域環境の概況

本地区は大正10年代に整備されたままの耕地であり、用排水路のほとんどが土水路であることから生き物のすみかは、整備済み地域より残っている。しかし、周辺地域の整備・農業の近代化・省力化が進んだことにより水生生物・植物が減少傾向となっている。また、ほ場内の畦畔・農道法面・水路溝畔及び法面の緑地は除草剤散布により茶褐色に枯れている場所が多く、動植物にとっても、生息・生育場所が減少している状況にある。

## 第 3 章 基本計画

### 第 1 節 要 旨

本計画は、県営区画整理事業68.2haを施行して耕地の汎用化を図り、労働生産性の向上を目指す。本事業により、農地利用集積率の向上、大規模経営による土地利用型農業を確立し、基盤整備関連経営体育成等促進計画の実現に資するほ場整備を実施するものである。

区画割りは、将来の営農体系等を勘案して、1ha区画（長辺200m×短辺50m）を基本とし整備を行う。道路計画は支線道路として全幅6.0m（有効幅員5.0m）の敷砂利舗装を基本とする。用水計画は、水の有効利用及び水管理の合理化を図るために自然圧パイプラインかんがい方式とする。排水計画は地区外流入がなく、ほ場内排水のみの区域は管水路とし、地区外流域から排水が流入する路線は開水路とする。

また、耕地の汎用化を計画することから、暗渠排水を計画する。

### 第 2 節 一般計画

事業名 土地 利用区分 事業目的	区 画 整 理							計 (ha)	備 考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	道 水 路 (ha)	非 農 用 地 (ha)	小 計 (ha)		
区 画 整 理	67.4	—	—	—	10.0	0.3	77.7	77.7	
計	67.4	—	—	—	10.0	0.3	77.7	77.7	

### 第3節 営農計画の概要

- a) 経営方式 水稲転作複合 水稲+大豆+その他作目[たまねぎ] (畑利用)
- b) 経営組織 農地の集団化を図り、大型機械の共同利用を進めると共に、土地利用権の集積に努め、農業経営の安定化を図る。
- c) 作業体系 (水稲) 耕起整地 → 基肥 → 植付 → 除草防除 → 収穫調整



### 第4節 土地利用区分

事業名	土地利用区分 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他の樹園地	小計	原野	山林	その他	計	備考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	現況	67.9	—	—	—	—	67.9	—	—	9.8	77.7	
	計画	67.4	—	—	—	—	67.4	—	—	10.3	77.7	
計	現況	67.9	—	—	—	—	67.9	—	—	9.8	77.7	
	計画	67.4	—	—	—	—	67.4	—	—	10.3	77.7	

## 第5節 環境配慮計画

### 目指す地域環境の姿

- ・ 地域の将来像 燕市農村環境計画において本地区は『田園環境エリア』としてゾーニングされている。  
『田園環境エリア』の目標は～自然環境・生活環境と調和した農村環境づくり～
  - ・ 環境に配慮した生産基盤の推進
  - ・ 田園景観の保全と創造
  - ・ 市民と農業との交流推進
  - ・ 豊かな自然環境の保全と創造
  
- ・ 環境配慮の進め方 生物の生息・生育環境としての農地の整備と生産性の確保との両立を考慮して、生物生息・生育環境の保全に配慮する。
  - ・ 主要幹線支線水路は極力、現況施設を利用し、工事期間の短縮を図る。
  
  - ・ 計画排水路の一部に、環境配慮型水路（魚巢柵）を設置し、水路内の動植物の生息・繁殖空間を確保する。
  
  - ・ 多面的機能支払交付金により地域住民が中心となって、水路境界における植栽による景観づくりを行う。
  
- ・ 維持管理体制 地域住民及び土地改良区の連携により行っていく。

## 第 4 章 工事又は管理の要領

### 第 1 節 工事の内容

事業名	工事内容		数量	備考
区画整理	整地工		67.4 ha	
	道路工	幹線	— km	
		支線他	11.4 km 10.6 km	
		連絡道	— km	
	用水路工	幹線	— km	
		支線他	9.5 km 12.7 km	
	排水路工	幹線	— km	
		支線他	9.3 km 7.9 km	
	暗渠排水工		67.4 ha	

## 第2節 管理の要領

### 1. 管理者

西蒲原土地改良区

### 2. 管理すべき施設の種類の等

本事業によって造成された施設

農道、用排水路、揚水機場、ファームポンド、調整池

### 3. 管理方法に関する基本的事項

管理者が維持管理計画に基づき、適切な管理を行うものとする。

## 第 5 章 換地計画の要領

### 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本事業を契機に、農用地等の集団化の向上はもとより、地域農業農村の発展に資するよう換地計画を樹立する。特に同計画をもとに地元地権者との合意形成を図り、利用権設定等を換地と一体的に行い、望ましい経営体（担い手農家等）に円滑に連担的農地として集積されるよう換地選定を行う。

### 第 2 節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、面積

換地区名	換地区の所在	面積
全換地区	燕市松橋	77.7 ha

#### 2. 換地区を設定する理由

該当なし

### 第 3 節 換地区計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

換地区名	地積の基準
全換地区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記地積とする。ただし、上記の日から3ヶ月以内に測量士、測量士補又は、土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地												非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一 般 国 公 用 地	総 合 計				
	田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地域に含める土地 (令第1条の9( ) 書き)			計	本事業によって生ずる 土地改良施設用地			創 設 合 計	特定用途 地			異 種 目 換 地	創設非農用地					合 計	国 県 市 町 村 合 計							
					土地 改良 施設	そ の 他	小 計		改 良 区 他 計	宅 地	そ の 他 計		農 業 経 営 合 理 化 施 設 用 地	生 活 上 ・ 経 営 上 必 要 な 施 設 用 地	公 用 ・ 公 共 用 施 設 用 地		宅 地 等	合 計												
																			計	計	計			計			計	計		
前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後					
全換地区	従前の土地	67.9	-	-	-	0.3	-	0.3	68.2	-	-	-	-	68.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	9.2	9.5	-	77.7
	換地	67.4	-	-	-	0.3	-	0.3	67.7	0.3	-	0.3	-	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	9.4	9.7	-	77.7
合計	従前の土地	67.9	-	-	-	0.3	-	0.3	68.2	-	-	-	-	68.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	9.2	9.5	-	77.7
	換地	67.4	-	-	-	0.3	-	0.3	67.7	0.3	-	0.3	-	68.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.3	-	9.4	9.7	-	77.7

## 3. 農用地集団化の方針

区分 換地区名	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当りの目標団地数	区画畦畔の取扱
全換地区	<p>○ 営農グループ別集団化</p> <p>農業生産法人・担い手農家の育成及び確保を図るとともに、これらを団地化して、農用地の面的集積を積極的に進める。</p>	<p>各人の従前の土地条件（区画形状・通作距離・日照等）を基準としながら、意向調査等の結果を踏まえて、営農グループ別集団化との調整を図りながら、地域の営農形態が向上するよう地区全体の合理的な土地利用計画を策定し、これに基づき換地の位置を選定して集団化する。</p>	<p>一戸あたりの団地数は、田については、概ね1～2団地を目標とする</p>	<p>固定畦畔とする。</p>

## 4. 非農用地の換地方法

該当なし

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

##### 1. 評価の方法

標準地比準方式

##### 2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

区分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換地計画の 決定予定年度	換地処分予定年度	備考
全換地区	令和3年度 ～ 9 令和5年度	10 令和7年度	10 令和7年度	

#### 第6節 換地処分の時期に関する特則

地区内の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分ができるものとする。

## 第 6 章 費用の概算

(単位：千円)

事業名等 区 分	区画整理	合計	備 考
主要工事	2,589,000 1,616,000	2,589,000 1,616,000	内地方事務費 57,000 77,100 内工事雑費 46,000 36,900
附帯工事	—	—	

(単位：千円)

事業名等	区 分	工 事 費				工 事 雑 費				地方事務費			
		国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元	国	県	市町村	地元
区画整理	負担率	50.0 %	30.0 %	10.0 %	10.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %
	負担金額	1,243,000 751,000	745,800 450,600	248,600 150,200	248,600 150,200	0	46,000 36,900	0	0	0	57,000 77,100	0	0
合計	負担率	50.0 %	30.0 %	10.0 %	10.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %
	負担金額	1,243,000 751,000	745,800 450,600	248,600 150,200	248,600 150,200	0	46,000 36,900	0	0	0	57,000 77,100	0	0

## 第 7 章 効 用

事業名等	項目 区分	年総効果（便益）額 （千円）	年総増加農業所得額 （千円）	備 考
区 画 整 理	作物生産効果	50,071 39,526	2,425 4,646	総費用（現在価値化） = 3,950,281 2,008,416 千円
	営農経費節減効果	27,804 27,401	32,322 31,698	総便益（現在価値化） = 7,305,300 4,610,867 千円
	維持管理費節減効果	△ 2,793 △ 2,280	△ 964 △ 997	
	耕作放棄防止効果	1 4	- -	総費用総便益比 = $\frac{7,305,300}{3,950,281} = 1.84$ 2.29
	災害防止効果（農業関係資産）	12,511 9,947	- -	
	農業労働環境改善効果	6,154 5,758	- -	
	災害防止効果（一般資産）	178,145 141,660	- -	増加所得償還率 = $\frac{10,368}{33,783} = 30.7\%$ 29.4%
	地積確定効果	934 740	- -	
	国産農産物安定供給効果	7,428 4,815	- -	
	計	280,255 227,571	33,783 35,347	

## 第 8 章 他の事業との関係

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
効用関連	国営かんがい排水事業 新川流域二期地区	農林水産省	19,535	排水樋門 1箇所 排水機場 4箇所 排水路 3.8km
効用関連	県営かんがい排水事業 西蒲原排水地区	新潟県	15,313	排水樋門 14箇所 排水路 110.0km 水管理システム 1式

## 第 9 章 計画概要図

別紙 計画一般図のとおり

変更前・変更後

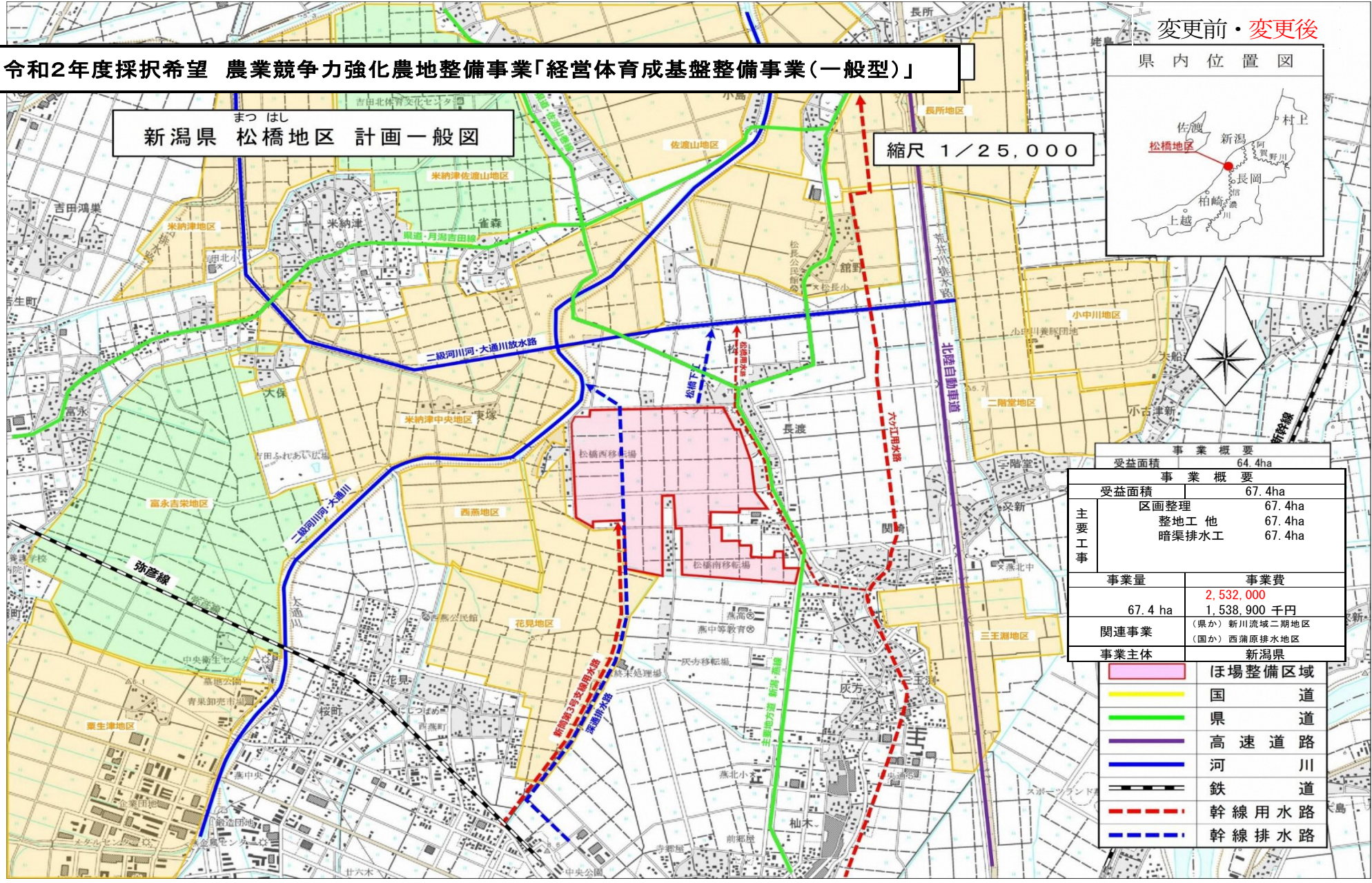
県内位置図



縮尺 1/25,000

新潟県 松橋地区 計画一般図

令和2年度採択希望 農業競争力強化農地整備事業「経営体育成基盤整備事業(一般型)」



事業概要	
受益面積	64.4ha
事業概要	
受益面積	67.4ha
区画整理	67.4ha
整地工 他	67.4ha
暗渠排水工	67.4ha
事業量	事業費
67.4 ha	2,532,000
1,538,900 千円	
(県か) 新川流域二期地区	
(国か) 西蒲原排水地区	
関連事業	
事業主体	新潟県

- ほ場整備区域
- 国 道
- 県 道
- 高 速 道 路
- 河 川
- 鉄 道
- 幹線用水路
- 幹線排水路